

ほうでえ～

ありゃ～のう

# 周防大島町の話題

## 元気を届けに！ フラガール来島

東日本大震災後、福島の元氣と笑顔を届けようと、全国キャラバンを展開しているフラガール（スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチーム）の皆さんは、今回が3回目の来島。今回は「未来をあきらめない気持ち」や「友達の大切さ」を伝える全国学校キャラバンとして訪れ、自身の体験談のほか、フラの手の動きの意味や踊り方の指導、また、子どもたちが今がんばっていることやこれからがんばりたいことの発表などが行われました。

また、フラガールの皆さんは、前夜の7月15日に片添のホテルで開催されたアロハキャンペーンのひとつ、サタフラ（毎週土曜日に行われるフラのイベント）のプレイベントでフラを披露。大勢の観客を魅了しました。



▶きづなスクールでの一場面。「今、がんばっていること」を書き出して発表しました。



▲大変な盛り上がりを見せたフラのイベント

## フィリピン・セブ島へ語学留学



▲語学留学生として派遣される（写真前列左から）行田紗菜さん、浜田桃子さん、平田愛咲子さん、中村理子さん、清宮綾香さん

フィリピンのセブ島へ語学留学する高校生5名の結団式が7月21日、大島庁舎で行われました。

これは、町が英語教育の充実を図る取り組みの一環としてはじめて実施するもので、費用の一部を町が負担します。

語学留学生第1号となったのは、清宮綾香さん、中村理子さん、平田愛咲子さん、浜田桃子さん、行田紗菜さんの5名で、和木町の2名、阿武町の6名の計13名で、8月9日から22日まで滞在し英語を学びます。

派遣先のフィリピンの英語教育は世界屈指の水準で、本年1月に町と包括的連携・協力協定を締結した山口大学の協力により実現しました。ハワイなどへ多くの移民者を輩出した歴史的な背景から、椎木町長は「英語は大変重要。次の世代との架け橋になって欲しい。」とエールを送り、参加者からも「多くの人とコミュニケーションをとっていきたい」「将来に生かせるように頑張りたい」など決意を述べました。